

むこう... ふみさぽ

安全で安心な子育てをめざして

新型コロナウイルス感染症への対応について

コロナ禍における援助活動におきまして、援助会員及び依頼会員双方のご理解のもと安全
安心に配慮し、無理のない援助活動をお願いいたします。活動に関してご不安やご心配なこ
とがあれば、センターへご連絡ください。

- 会員や利用するお子さま、同居家族の方に体調不良（発熱・風邪症状など）が見られた場合は
活動をお控えください。
- 活動前には必ず検温を行い、健康状態を確認してください。
- 活動中はマスクの着用、手洗い、消毒、換気等の感染予防対策にご協力ください。
- 活動中の会員、お子さま、同居家族の方に新型コロナウイルス感染者（濃厚接触者を含む）が
発生した場合は、速やかにセンターまでご連絡ください。

***** お知らせとおねがい *****

顔合わせカードについて

顔合わせカードは個人情報に記載されているため取り
扱いには十分ご注意ください。また退会時にはセンター
へ返却をお願いします。

後期の予定（援助会員対象）

令和 4 年 11 月 16 日（水） おでかけ学習会
令和 5 年 3 月 2 日（木） おめでとうカード作り

援助活動について

ファミリーサポートセンターでは事前に
活動状況を把握することで相互援助活動中
の事故に備えています。活動日が決まった
時や初回の顔合わせで取り交わした内容に
ついて変更や追加があった場合はご連絡く
ださい。

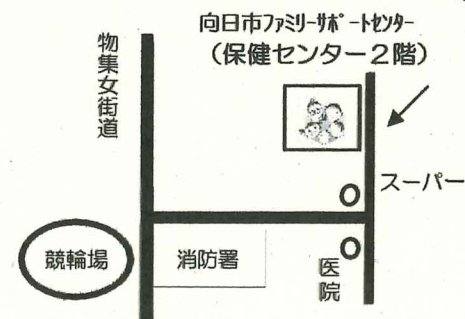
また活動報告書は翌月 15 日までにファ
ミリーサポートセンターまたは東向日別館
4 階「子ども家庭課」へ封入のうえ、ご提
出ください。

***** 編集後記 *****

紅葉の美しい季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの流行「第 7 波」
が猛威を振るうなか、3 年ぶりに行動制限がなかった今年の夏。久しぶりに旅行をされた方や帰省してご家族や
ご友人にお会いになった方も多かったのではないのでしょうか。ファミサポの事業も無事に行うことができいま
す。まだまだ油断はできませんが、今後も感染対策につとめながら子どもの健やかな成長の橋渡しをしていき
たいと思います。皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

向日市ファミリーサポートセンター

〒617-0002
向日市寺戸町東野辺 31
保健センター 2 階
TEL/FAX (075) 932-7831



緊急救命講習を開催しました

9 月 28 日 赤十字救急法「幼児安全法」



受講者の感想

・以前にも講座を受けていますが少し状況が
変わると声さえ出すことができない自分に
気づき今回も受講しました。いつか平常心で
救命活動ができればと思います。

* * *

・自分の子どもが同じ状況になったらと想像
して取り組みました。繰り返し受講して、も
しもの時に実践できるようにしたいです。

ファミリーサポートセンター事業では、預かり中の子どもの
安全対策のため、援助活動を行う会員に少なくとも 5 年に 1 回
「緊急救命講習」を受講することが義務となっています。

心肺蘇生を必要とする時は突然やってきます。その時ためら
わず一歩踏み出す勇気を持てるよう、また「命を救える学びが
ある」といった視点でも今後ご参加いただきますようよろし
くお願いいたします。



令和4年度 前期をふりかえって

子育てサポーターとして必要なこと

長岡京市のせきゅりてい・ぶらんけっと代表 田中 ゆか先生の、親子と関わる喜びのいっぱい詰まったエピソードが印象的。

援助者として子どもの様子を親に伝えることが重要だと認識しました。(60歳代受講者)



子どもの事故と安全

事前 WEB 講習で知識を得て、向日消防の新庁舎内での実践。程よい緊張感の中で心肺蘇生法を身に付けました。

皆の前に出ただけで頭の中が真っ白になってしまい実際に近くの人倒れたらどうなるか…。(中略)もう一度順番を整理し、確認することができ一歩も二歩でも前進できたように思えました。(40歳代現会員)



子どもの気がかりな姿と親への支援



気がかりな子どもの姿って？同志社女子大学の安田 志津香先生のお話から親子にとっての援助者の役割を一緒に考えました。

どんどん子どもをほめて、親御さんに元気を与え、自分も元気になる楽しみたいと思います。(60歳代:現会員)

子どもの遊び



「子どもにとって、遊びは生活そのもの。」と語るは元向日市ファミサポセンター長東田 みずづ先生。わくわくがいっぱいの講座でした。

子どもと一緒に遊ぶことは大切で、子どもの笑顔を見れる事は幸せなんだと実感しました。(50歳代受講者)

子育てサポーター養成講座

コロナ禍となり3年目の養成講座。幸いにも感染状況は落ち着いていて、昨年や一昨年のように、開催の可否の判断を迷うことなく実施できました。

依然、積極的に受講者を募集することは難しい状況でしたが、地域の中での子育て支援に関心のある方が集い「今こそ！」と学びを深めて登録されファミサポの仲間が増えました。実施の報告と講座内容を紙面でお伝えします。

R4年度
6月~7月



各講座の紹介



親の子育て力を導くという難しいことはできませんが、一時の安心感を持ってもらえれば、私もうれしいかなと思っています。(70歳代受講者)



令和の今、コロナ禍の今！身近な親子の暮らしを知る講座。華頂大学の流石 智子先生にお話を聞きました。

子育てを取り巻く環境と子育て支援の必要性

交通安全教室

向日警察署の長畑 智子さんのお話では援助活動を意識した交通ルールの再確認になりました。



「送迎」と気安く考えないで、いつも以上に気を配らないといけないなど、改めて思いました。(40歳代受講者)

子どもの心と身体の発達



光華女子大学にて看護学生さんに教鞭をとっておられるキット 彩乃先生を今年度新しく講師に迎えました。

自身の子育て期で忘れていた時や部分も思い出させていただきました。(50歳代受講者)

援助会員との交流会



ファミリーサポートは何かあった時の依頼会員さんの安心感につながるという言葉が素敵でした。(50歳代受講者)

気持ちの温かくなるような体験談でした。(40歳代受講者)

活動を通じて知る喜びや悩みを先輩援助会員さんが語ってくださいました。貴重な生の声です！

向日市では例年、厚生労働省の一定の基準に沿った内容で、援助会員になるために必要な『子育てサポーター養成講座』を開催しています。この講座はどなたでも子育て支援に関する知識や技術を学ぶことができる内容です。市内の子育てをめぐる状況に応じた内容を熟慮し、講師依頼をして実施しています。援助会員登録時だけでなく、興味を持たれた講座がありましたら単発受講も可能です。現援助会員さまも、依頼会員さまも、ぜひご参加ください。